

## 内政・外交

- 11月28日～12月6日、ケニア・ナイロビで第3回和平協議が開催され、武装解除等の受け入れ等を内容とするコミュニケを採択。
- 4日、カトリック教会が、東部問題に対する国民社会の無策を非難し、MONUSCO撤退等を求めるデモを行ったが、平和的に終了。
- 4日、プリンケン米国務長官とカガメ・ルワンダ大統領の電話会談が実施され、プリンケン国務長官がルワンダに対しM23支援を止めるよう求めた。
- 5日、当国政府報道官が、11月末に東部キシエシェで起きた市民の大量虐殺の犠牲者数が272人にのぼると発表。7日、MONUSCOが、11月29日、30日にキシエシェ及びバンボで少なくとも131人(男性102名、女性17名、子ども12名)の市民がM23により殺害されたとする暫定調査結果を発表。
- 9日、安保理でコンゴ(民)情勢に係るブリーフィングを開催。
- 10日、チセケディ大統領が、議会で恒例の演説を実施(Discours sur l'état de la Nation)。
- 11日から、チセケディ大統領が米・アフリカ・リーダーズ・サミット出席のため訪米。13日にはプリンケン国務長官とのバイ面会を行った他、コンゴ(民)、ザンビア、米国の三者による電気自動車用バッテリー生産のバリューチェーン開発のための協力にかかるMOU署名式に出席。14日には、ガボン、リベリア、マダガスカル、ナイジェリア及びシエラレオネ大統領とともにバイデン大統領に面会。
- 12日から13日にかけての夜にキンシャサで大雨による洪水被害が発生。
- 16日、カトゥンビ Ensemble 党党首が、チセケディ大統領派である国家神聖連合(Union sacrée de la Nation)を離脱し、2023年の次期大統領選挙に立候補する考えを表明。
- 20日、安保理でMONUSCO マンデート更新決議及び事前通報制度撤廃決議が採択された。
- 24日、選挙人登録が開始。
- 27日、カトゥンビ党首に近いムワンド計画大臣、オケンデ運輸大臣、キルンバ保健副大臣が辞任。
- 28日、南スーダン大統領が、M23と戦うコンゴ(民)国軍を支援するため、EAC地域軍に兵士750名を派遣すると発表。
- 28日、ルワンダ政府は、コンゴ(民)国軍軍用機がルワンダ領空を侵犯したと非難。翌29日、コンゴ(民)政府は領空侵犯の事実はないと否定。
- 12月30日～1月3日、チセケディ大統領が東カサイ州を訪問。

## 経済

- 3日、国民議会が158億ドルの予算規模の2023年予算案を可決。
- 4～9日、ンサンバ鉱山大臣が訪日。9日、鉱山大臣は西村経産大臣と会談し、共同声明に署名。経産省・JOGMEC共催の鉱物資源に関するビジネスラウンドテーブルも開催。
- 20日、IMFが拡大クレジットファシリティ（ECF）の第三回レビューを終え、203百万米ドルのディスバースを承認。

（注）本月報は、コンゴ（民）に関する各種報道等を元にとりまとめたものであり、当館がその内容の正確性や信憑性を保証するものではありません。また、日本政府やコンゴ（民）政府の公式見解と異なる場合があります。